



2日目—愛

Iヨハネ4：7—21

執り成しの祈りのヒント

神の命じられることはすべて、神ご自身が実現なさることを覚えましょう。

ほかの約束についても同じように祈り求めましょう。

- 無条件の愛をお与えになる神を賛美しましょう。

「わたしたちが愛するのは、神がまずわたしたちを愛してくださったからです」(Iヨハネ4：19)

- 神が失われた魂に対する愛をあなたの心に与えてくださるよう祈りましょう。

「愛には偽りがあってはなりません。悪を憎み、善から離れず、兄弟愛をもって互いに愛し、尊敬をもって互いに相手を優れた者と思いなさい」(ローマ12：9—10)

「わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、わたしたちも互いに愛し合うべきです」

(Iヨハネ4：10—11)

- あなたの敵やあなたを迫害する人に対する愛を神が与えてくださるよう祈りましょう。

「だれに対しても悪に悪を返さず、すべての人の前で善を行うように心がけなさい。できれば、せめてあなたがたは、すべての人と平和に暮らしなさい。愛する人たち、自分で復讐せず、神の怒りに任せなさい。『「復讐はわたしのすること、わたしが報復する」と主は言われる』と書いてあります。『あなたの敵が飢えていたら食べさせ、渴いていたら飲ませよ。そうすれば、燃える炭火を彼の頭に積むことになる。』悪に負けることなく、善をもって悪に勝ちなさい」

(ローマ12：17—21)

「しかし、わたしは言うておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい」

(マタイ5：44)

- 神の愛が教会において実現するよう祈りましょう。

1 (2日目)

「これらすべてに加えて、愛を身に着けなさい。愛は、すべてを完成させるきずなです」

(コロサイ 3 : 14)

「わたしは、こう祈ります。知る力と見抜く力とを身に着けて、あなたがたの愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けられるように。そして、キリストの日に備えて、清い者、とがめられるところのない者となり、イエス・キリストによって与えられる義の実をあふれるほどに受けて、神の栄光と誉れとをたたえることができるように」(フィリピ 1 : 9—11)

「いまだかつて神を見た者はいません。わたしたちが互いに愛し合うならば、神はわたしたちの内にとどまってくださり、神の愛がわたしたちの内ですべてに満ちているのです」(Iヨハネ 4 : 12)

- あなたの生き方とあなたの教会が、周囲の人々に対して神の愛を表すことができるように祈りましょう。

「何事も愛をもって行いなさい」(Iコリント 16 : 14)

「愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。愛は決して滅びない」(Iコリント 13 : 4—8)

- どんなものもキリストの愛からわたしたちを引き離すことがないように祈りましょう。キリストからあなたを引き離してしまうものが何であることを示していただき、それらを主にゆだねることができるように求めましょう。

「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、力あるものも、高い所にいるものも、低い所にいるものも、他のどんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです」(ローマ 8 : 38—39)

- アドベンチストの家族内において愛の関係が構築されるように祈りましょう。離婚の危機に瀕して苦しんでいる家族が周囲にいたら、特別に祈りましょう。

「何よりもまず、心を込めて愛し合いなさい。愛は多くの罪を覆うからです」(Iペトロ 4 : 8)

「何事も愛をもって行いなさい」(Iコリント 16 : 14)

「希望はわたしたちを欺くことはありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです」(ローマ 5 : 5)

- 神の教会内において愛の関係が築かれるように祈りましょう。

「愛する者たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれ、神を知っているからです」(Iヨハネ 4 : 7)

「あなたがたは、真理を受け入れて、魂を清め、偽りのない兄弟愛を抱くようになったのですか

ら、清い心で深く愛し合いなさい。あなたがたは、朽ちる種からではなく、朽ちない種から、すなわち、神の変わることのない生きた言葉によって新たに生まれたのです」

(I ペトロ 1 : 22—23)

- 個人的に、また教会として、日々聖書を読むことができるように、またリバイバルに関するみ言葉の学びをすることができるように祈りましょう。

「聖書はすべて神の霊の導きの下に書かれ、人を教え、戒め、誤りを正し、義に導く訓練をするうえに有益です。こうして、神に仕える人は、どのような善い業をも行うことができるように、十分に整えられるのです」(II テモテ 3 : 16—17)

「わたしの目の覆いを払ってください／あなたの律法の驚くべき力に／わたしは目を注ぎます」
(詩編 119 : 18)

- わたしたちが終わりの時代に生かされており、キリストの再臨が間近に迫っているということを、教会指導者及び教会員が、より強く認識することができるように祈りましょう。

「愚かな者としてではなく、賢い者として、細かく気を配って歩みなさい。時をよく用いなさい。今は悪い時代なのです」(エフェソ 5 : 15—16)

- 個人的な必要など、心のうちにあることについて祈りましょう。

「わたしの神は、御自分の栄光の富に応じて、キリスト・イエスによって、あなたがたに必要なものをすべて満たしてくださいます」(フィリピ 4 : 19)

- 都市伝道のために

ユーロ・アジア支部と、その宣教対象都市のために祈りましょう。

モスクワ (ロシア)、キエフ (ウクライナ)、キシナウ (モルドバ共和国)、ドネツィク (ウクライナ)、ミンスク (ベラルーシ共和国)、サンクトペテルブルク (ロシア)、ノボシビルスク (ロシア)、クラスノヤルスク (東ロシア)、ハバロフスク (ロシア)、ロストフ・ナ・ドヌ (ロシア)、トビリシ (グルジア)、エレバン (アルメニア共和国)、アルマトイ (カザフスタン共和国)

現在行われている多くの奉仕活動や収穫を求める集会のために祈りましょう。

「何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心から行いなさい」

(コロサイ 3 : 23)

- 物事や状況や人を通して、愛を注いでくださる神を賛美しましょう。

「遠くから、主はわたしに現れた。わたしは、とこしえの愛をもってあなたを愛し／変わることなく慈しみを注ぐ」(エレミヤ 31 : 3)

「わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります」(Ⅰヨハネ4:10)

➤ 神があなたの祈りに応えてくださるお方であることを賛美しましょう。

「あなたは全能であり／御旨の成就を妨げることはできないと悟りました」(ヨブ記42:2)

祈りの時間の終わりに、祈りのリストにある7人のために、2～3人のグループで祈りましょう。彼らが、心の内に神の愛を受け入れ、また主の聖なる愛をもって他の人を愛することができるように祈りましょう。彼らのために、Ⅱテサロニケ3章5節を心に留めましょう。「どうか、主が、あなたがたに神の愛とキリストの忍耐とを深く悟らせてくださるように」。もし、大人数で共有することがためられる祈りの課題があれば、パートナーにそれを打ち明け、祈り合いましょう。

讚美歌 「あなたを愛します」 (きぼうのせいさ 63 番)
「主われを愛す」 (希望の讚美歌 251 番)
「罪に沈み」 (希望の讚美歌 239 番)
「十字架を高くかかげ」 (希望の讚美歌 309 番)
「うたえ主の愛」 (希望の讚美歌 256 番)

愛に関するエレン・G・ホワイトの言葉

「霊の結ぶ実は愛…です」(ガラテヤ5:22)

「ここにわたしたちが労力を傾けるべきことがあります。『霊の結ぶ実は愛で』す。もしわたしたちの心の内にキリストの愛があるのであれば、その他の恵みは自然にあらわされるものなのです——喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制、そして『これらを禁じる掟はありません』。神の律法がこれらの恵みを表す人に有罪の宣告をし、律法の下に置くようなことはありません。神の律法の要求に従っているからです。彼らは律法の遵守者であり……律法の下にはいないのです。…

わたしたちは愛を自分のものとすべきです。そして、そこには喜び、平和、寛容、忍耐が伴います。わたしたちは、この世がいかにか落ち着いた中にあるか、そしてそこにいる人々がいかにか満足していないかを知っています。彼らは、自分が持っていないものを欲しがります。また、持続する興奮や楽しみをもたらしてくれるものを求めています。しかし、キリストに従うものには、喜び、平和、寛容、親切、謙遜、誠実、忍耐があり、これらのものに対してわたしたちは心の扉を開き、神の霊が与えてくださる天来の恵みを追い求めたいと思います。……誰かが他の人に代わってそれをするにはできません。あなた自身が霊の恵みをいつでも受けることができるのであり、……各自が自分で働きかける必要があります。そして、神の恵みを受けるための個人的な努力を行う決意

をする必要があるのです。わたしはあなたの品性を造りあげることはできないし、あなたもわたしのためにそれをするにはできません。老いも若きも、すべての人が個人的に負うべき重荷なのです。

キリストは、次のようにおっしゃっています。『わたしは、人を純金よりもまれなものとし／オフィルの黄金よりも得難いものとする』（イザヤ 13：12）。どのようにして行われるのでしょうか？ 聖霊の恵みである——愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制によって心が耕されることによって行われるのです。神の力強いみ腕にしっかりとしがみついた信仰が必要です。……わたしたちはすべて、神の霊の恵みを心に受け入れる必要があります。

キリストの愛が心の内に宿る時、香水の香りのように、それを隠すことはできません。その人の品性を通じてあらわされるところの清い影響力は、すべての人に明らかにされるのです。願い求める人々の内に、キリストが『栄光の希望』によって、形作られるのです」(*In Heavenly Places*, p. 244)

「御霊の実は愛、喜び、そして平和です。争いや不和はサタンの働きであり、罪の実です。もしわたしたちが平和と愛を喜ぶ者であるならば、罪を退け、神と調和した生き方をし、お互いの調和の内に生きる者となるのです。このためには自己吟味が大切です。わたしは愛の恵みを自分のものとしているだろうか。忍耐をすることと親切であることとを学んだのだろうか、と問いかけるのです。どのような能力も、知識も、雄弁さも、天来の愛という特性が伴うものでなければ、騒がしいどらや、やかましいシンバルと同じように意味のないものになってしまうのです。ああ、このすばらしい宝が、信仰を告白する多くの者によってなんと軽んじられ、それを求める人のなんと少ないことでしょうか！」(*Testimonies for the Church*, vol. 5, p. 169)

「魂がキリストと一つになるところにはどこにでも愛がある。どのような品性であれ、愛—軟弱で感情的な愛ではなく、キリストの心の内に宿る愛—がなければ価値がありません。愛が無ければ、他を益することはできません。愛であるキリストを表すことができないからです」

(*Signs of the Times*, Dec. 28, 1891, par. 18)

個人的な考察のための質問：

1. あなたの人生において、心を尽くして神を愛することの妨げとなるものがあるとしたら、それは何ですか。それを示していただくことができるように、神に求めましょう。その上で、示されたものを神にゆだねましょう。
2. あなたが愛することの難しい人はいますか。そのような人を喜んで愛することができるようになるために、あなたの心に愛が与えられ、その人たちに主の愛を表すことができるよう、神に求める時間を過ごしましょう。